

平成21年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀医科大学  
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,012	5,844	△ 168	(注1)
施設整備費補助金	629	1,443	814	(注2)
補助金等収入	106	550	444	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	31	31	-	
自己収入	15,107	15,086	△ 21	
授業料、入学料及び検定料収入	607	609	2	(注4)
附属病院収入	14,453	14,336	△ 117	(注5)
雑収入	47	141	94	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,155	1,295	140	(注7)
引当金取崩	245	253	8	(注8)
長期借入金収入	3,282	3,237	△ 45	(注9)
承継剰余金	7	-	△ 7	(注10)
目的積立金取崩	353	700	347	(注11)
計	26,927	28,439	1,512	
支出				
業務費	18,861	19,147	286	(注12)
教育研究経費	5,192	4,763	△ 429	
診療経費	13,669	14,384	715	
一般管理費	1,852	1,612	△ 240	(注13)
施設整備費	3,942	4,711	769	(注14)
補助金等	106	544	438	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,155	1,084	△ 71	(注16)
長期借入金償還金	1,011	1,023	12	(注17)
計	26,927	28,121	1,194	
収入－支出	-	318	318	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で使用見込額として計上していた前年度から繰り越した運営費交付金債務を承継された職員に係る退職手当の減により使用しなかったため、予算金額に比して決算金額が168百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、平成21年度補正予算による「高精度放射線治療システム」等の交付を受けたため、予算金額に比して決算金額が814百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった大学改革推進等補助金及び平成21年度補正予算による国立大学法人設備整備費補助金の交付を受けたため、予算金額に比して決算金額が444百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、医学部入学定員増に伴う検定料の増により、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、請求保留レセプト（公費負担の申請手続き中のもの等）の増加により、予算金額に比して決算金額が117百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、カニクイザルの売払（50百万円）、預金利息（12百万円）及び有価証券利息（13百万円）の受領、不用品の売払（3百万円）、職員宿舍貸付料等の増加（7百万円）等により、予算金額に比して決算金額が94百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究及び寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が140百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、予算段階で予定していなかった退職給付引当金の取崩しにより、また、予算段階における賞与引当金見積額が過少であったため、予算金額に比して決算金額が8百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金については、事業内容の変更により、予算金額に比して決算金額が45百万円少額となっています。
- (注10) 承継剰余金については、予算段階で使用見込額として計上していた訴訟に係る賠償費用を使用しなかったため、予算金額に比して決算金額が7百万円少額となっています。
- (注11) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していなかった、教育・研究・診療の環境等充実事業を実施したため、予算金額に比して決算金額が347百万円多額となっています。
- (注12) 業務費については、(注11) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が286百万円多額となっています。
- (注13) 一般管理費については、承継された職員に係る退職手当の減（168百万円）、任用計画見直しに伴う人件費の減（13百万円）、経費の節減に努めたため（51百万円）、及び承継剰余金による支払い7百万円が発生しなかったこと等により、予算金額に比して決算金額が240百万円少額となっています。
- (注14) 施設整備費については、(注2) 及び(注9) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が769百万円多額となっています。
- (注15) 補助金等については、(注3) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が438百万円多額となっています。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7) に示した理由等により、一方、寄附金事業費については、翌年度への繰延べ額（136百万円）の増加により、予算金額に比して決算金額が71百万円少額となっています。
- (注17) 長期借入金償還金については、繰上げ償還を行ったため、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっています。